

議会だより



4月5日 小学校入学式

今年の予算はこう使われます 2～3

- 町長所信表明 4～5
- 一般質問（瀧口議員、武藤議員） 13～14
- 地域で活躍する団体を訪ねて
（二胡部） 15

安心安全の 向けた各種施策を執行

一般会計 賛成討論

「コンパクト・セーフティ・タウン西桂」 実現に向けた各種施策の執行を



酒井基和 議員

平成30年度西桂町一般会計当初予算は、総額21億8563万円であり、前年度当初予算と比較して8840万円の増額となっております。歳入においては、町税で4億2395万円の計上で、前年度比91万円の増となつ

ております。地方交付税においては700万円の増収となっており、また基金については、減債基金6500万円、財政調整基金1億5700万円、環境保全基金500万円の繰り入れを行ない、財源の確保を図っております。町債においては、臨時財政対策債6950万円、緊急防災・減災事業債1890万円の借り入れを行っております。交

3月定例会は平成30年3月2日に招集され、同日に本会議、その後会期中に各常任委員会審査会、本会議が開催され、19日間の会期をもって、20日に閉会いたしました。町執行部より条例17件、当初予算7件、補正予算7件、その他議案1件、同意1件、合計33件が提案され、全ての議案が全員賛成にて、原案のとおり可決・同意されました。

付税算入される起債を活用するなど、町の努力が見られるものであります。歳出においては、保育所4歳・5歳児保育室へのエアコン設置工事、小学校北館トイレ改修工事を、子ども医療費助成事業経費では、助成対象年齢を18歳まで引き上げ、また、小中学校及び高等学校等への入学支度金の支給時期の前倒しを行なうなど、子育て支援に配慮した予算となっております。また、人間ドック対象年齢の上限を撤廃し、町民の健康増進に繋がる施策や、いきいき健康福祉センターのデイルーム内へのトイレ設置工事、外灯LED化経費、消防分団積載車更新経費など、町民の安心安全に、重点を置いた、小林町長の意気込みが感じられる予算である

と思います。

今後は、「すこやか交流館アーク」の有効活用が図られること、また、織物産業などの地場産業及び、教育や国際交流が発展することを期待してお

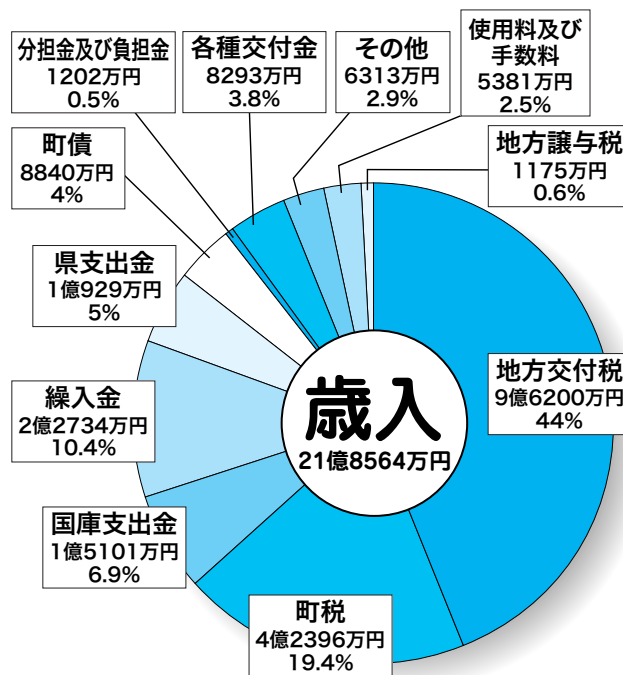
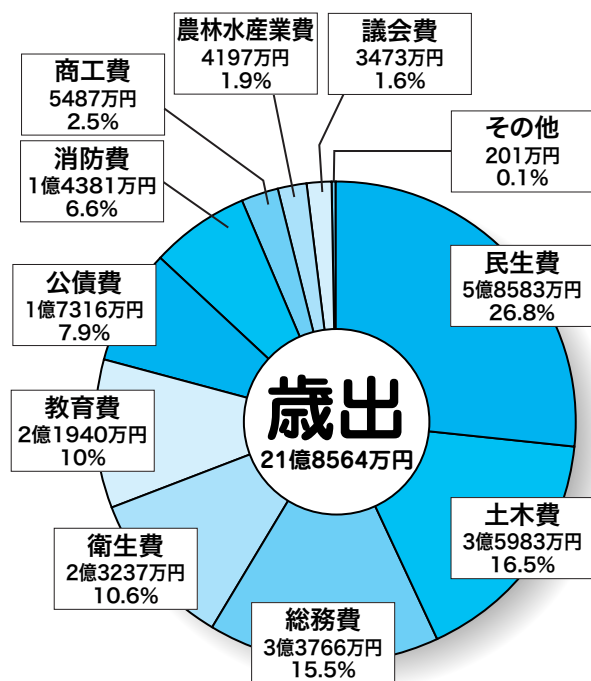
ります。予算執行にあたり、「コンパクト・セーフティ・タウン西桂」の実現に向け、町長はじめ執行部のさらなるご活躍、ご努力を期待いたします。



洋式に改修予定の小学校トイレ（北館）

「子育て支援、健康増進、町づくり」に

平成 30 年度 西桂町一般会計当初予算



■ 基金（貯金）残高15億9239万円（約37万円）

■ 地方債（借金）残高

普通債 6億4626万円（約15万円）

臨時財政対策債等 11億5254万円

※左記の額は一般会計平成 29 年度末見込みです。

※〔 〕内はH30年4月1日現在人口4,346人で割った一人当たり額

※臨時財政対策債は、地方交付税で100%財源が措置される地方債です。

一般会計の主要事業及び主な新規事業

- 学校給食車購入（更新）457 万円
- いきいきセンターダイルーム内トイレ増設工事（新規）777 万円
- すこやか子育て応援医療費助成事業（充実：対象年齢引上）1822 万円
- 人間ドック委託経費（充実・年齢制限撤廃）292 万円
- 健康増進計画作成業務委託（新規）260 万円
- サル用大型捕獲用檻設置（新規）170 万円
- 千本桜の里管理経費（新規）628 万円
- 入学就職支度金支給経費（継続）600 万円
- （仮称）宮作橋詳細設計業務経費（新規）2573 万円
- 町営中野団地外壁工事（新規）3138 万円
- 尾尻橋補強補修工事1923 万円
- 消防団分団積載車購入経費（更新）1728 万円



小林町長 所信表明

「すこやか交流館アーク」を拠点に、町民の健康維持、向上、観光の充実、雇用の創出を実現し、年間を通じて利用される施設を目指してまいります。

人間ドック対象年齢の上限撤廃

「参画と協働によるまちづくり」

町民と行政が、お互いに目的を共有し、町民ニーズを掘り起こし、一体となつて考え、行動し解決していくという「協働」のシステムにより、地域課題の解決や魅力ある町づくりに取り組んでいくことが、住民満足度の高いまちづくりにつながっていくと考えていることから、「西桂町協働事業提案制度」や武蔵野大学「フイールドスタディーズ」の受け入れ、東京造形大学との連携を通じ、地域や団体と行政が連携し、一体となつて進めるまちづくりを推進してまいります。

「地域防災の推進」

消防団の消防ポンプ車、積載車を年次計画により更新してまいります。（仮称）宮作橋新設については、平成30年度には橋梁及び道路改良の詳細設計と用地買収を予定しており、平成32年度までに橋梁新設を完了する計画となっております。

「国際交流事業の推進」

フランス共和国フエンスィング連盟との2020年東京オリンピック事前合宿を成功に導くため、町民の機運の醸成を図り、地域資源を生かし、人やモノ、情報などの様々な交流を通じて、新たな価値を創造し、レガシーを

「保健・医療の充実」

成人保健については、残すためのアクションを推進してまいりたいと考えております。

「子育て支援の推進」

子ども医療費の助成を、平成30年度より高校3年生まで対象者を引き上げ、子育て世帯に対する経済的な負担の軽減を図ってまいりたいと考えております。また30年度から就学前の園児や低学年の児童を撤廃いたします。

「農林業の振興」

住宅地へのサルの進入を減らすべく、下暮東京仕免地区への大型捕獲檻の設置に向けて下暮地区と猟友会との協議を進めてまいります。

「商工業の振興」

平成28年度より取り組んでおります地方創生推進交付金事業「ものづくり産業を核としたグローバルデザイン拠点事業による新たな地域ブランドづくり」は、平成30年度は昨年度に引き続き町内



富士吉田・西桂スマートインター開通

場 所	中央自動車道 都留IC～河口湖IC間
運用時間	24時間利用可能
対応車種	ETC 車載機を搭載した全車種
利用形態	一旦停止型・全方向利用可能（フルインター形式）

※河口湖方面の開通日は改めて公表いたします。

平成30年度 各会計当初予算計上額

全員賛成

会 計 名	予 算 総 額	前年との比較
一 般 会 計	21億8564万円	8840万円
国民健康保険特別会計	3億8254万円	△1億3615万円
後期高齢者医療特別会計	9166万円	1159万円
介護保険特別会計	3億3713万円	1308万円
介護予防支援事業特別会計	16万円	△51万円
簡易水道特別会計	6561万円	△83万円
下水道特別会計	1億9965万円	△476万円
合 計	32億6239万円	△2918万円

外への認知度の向上及び
活性化を促進するために、
地場産業である織物事業
者に対し、町民及び来町

者等に向けた生産現場の
見学、商談、製品販売等を
目的としたファクトリー
ショップを整備してまい

「観光の振興」

「千本桜の里整備事業」

「道路交通網・公共 交通体系の確立」

富士吉田・西桂スマー
トインターチェンジ整備
事業は、東京方面への乗
り降りランプのみ開放の
ハーフインター方式によ
り4月に供用開始となり
ます。

県道富士吉田・西桂線
拡幅工事については、富
士吉田・西桂スマートイ
ンターチェンジの整備と
合わせて1日も早く完成

し、国道139号の渋滞
緩和や地域の発展に寄与
することを期待しており
ます。

「生涯学習の充実」

リニューアルしました
「西桂町すこやか交流館
アーク」については、新た
にボルダリングやトレー
ニング施設を設け、子供
から大人まで誰もが楽し
める施設として、町内外
からの利用者の増加に努
めてまいります。

平成29年度に、きずな
未来館内に子育て支援セ
ンターを保育所より移設
したところ、児童館・支
援センター・保健・保育
所との連携がこどもコン
シエルジュなどの調整に
より効果的に発揮でき、
支援の幅が広がり利用者
も増えたことから、平成
30年度も継続してまいり
ます。

「教育行政の推進」

「入学就職支度金支給
事業」については、より有
効的な支援となるよう平

成31年度支給対象の児
童・生徒には平成30年度
内の支給を目指し事務を
進めてまいります。

「自ら学び考える 力を育てる教育」

「土曜学習支援事業」に
ついては、放課後児童健
全育成事業と連携しなが
ら、児童館事業として希
望する児童・生徒の自主
的な学習をサポートし、
学ばしさを教え、基礎

学力の向上や学習習慣の
定着を図ることを目的と
して、引き続き実施して
まいります。

「地域資源の保全・活用」

三ツ峠周辺の史跡郡18
箇所124基や貴重な資
源を保全するとともに、
ホームページを活用しな
がら、町内外へ魅力を伝
える事業を行ってまいり
ます。



ランラン教室での様子

4月からCATVデータ放送 の運用開始

平成30年度一般会計当初予算

●主な委員質疑・総務

問 CATVで町の情報を流すということだがその予定は。

総務課長 情報提供は4月からの運用開始を予定しています。

問 庁舎東別館改修計画の進捗状況は。

総務課長 現在、土地収用計画を作成しており、県や国と協議して土地を収用していく予定です。

主な委員質疑・民生衛生

問 地域おこしサミットという事業があるようですが、詳細な説明を。

福祉保健課長 ワーカーズコープの関連会社で（二社）日本社会連帯機構が主催し10月5日・6日に（仮称）「全国名人、達人サミット in 西桂」を開催し、当町の「ばいかも」を含めて地域の方々と一緒にイベントを行います。その為の実行委

員会の補助として30万円を計上させていただきます。

した。

意見 町でもバックアップして、広報にしかつら等に、事業計画の提案等を早めに載せて、町民の意識高揚に努めていただきたい。

問 町長所信表明での、「みんなで子育てをする町」宣言について日程や具体的な動きは。

福祉保健課長 既に70項目で子ども子育ての支援をしています。平成30年度においては子ども子育て支援を強化するために、福祉、教育、保育所など、子どもに関する部署の取りまとめ、施策の内容の調整などを、子育て支援センターを拠点にしてやっていきたいと考えております。宣言については町民全体で取り組んでいかなければならないことなので、多くの町民を交えた会議等、検討する場

を設けて子育て支援に対する骨子や骨格をみんなで作っていくことを考えていきたいと思っています。

す。

町長 「みんなで子育てをする町宣言」については、子育て支援の世代に特化しますので、あらゆる世代の町民の皆さんにご理解をいただかなければいけません。意見などまとまり次第、宣言をしてまいりたいと思います。

問 緊急通報システムとはどのようなものか。

福祉保健課長 ペンダントのようなものがあり、ボタンを押すことで、アルソックに繋がる仕組みになっています。また、不安な時にアルソックに通報する仕組みです。

問 人間ドック経費が前年から見て100万円の減になっています。人間ドックは65歳以上も補助金を出す対象にするとありましたか、逆行している予算になっているか。

福祉保健課長 昨年度は

受診者を1000人見込んでおりましたが、実際は12人でした。現状を鑑み今年度は30人を見込んでおります。

問 今年度の町内河川清掃計画について説明を。

産業振興課長 30年度については、町が主催とな

り、住民の方も交えて、桂川の清掃活動を行なっていきたいと思います。ゴミの収集、ゴミの分別を住民の方に行なっていた桂川の中にどのようなゴミがあるのかを見て認識していただき、自然環境に対する啓蒙活動を



CATV富士五湖（データ放送案内画面）

平成30年度から消防積載車 (軽四輪)を更新配備



入れ替え予定の積載車

実施していきます。

問 一般廃棄物収集経費に広域化による負担増とあるが、ごみ収集の広域化について進展は。

産業振興課長 平成42年から都留市で計画している新型ゴミ収集場に統一させていただく要請書を

12月に提出して、中津森地区から回答書をいただきました。今後は検討委員会を設置し、基本合意に向けての検討を行なうということです。

問 主な委員質疑・農工商グリーンセンターの

分煙室設置ですが、どこに設置するのか。

産業振興課長 場所は食堂の横の倉庫を改修して専用の喫煙室とし、排煙ダクトなどの排煙設備を設けます。

問 有害鳥獣ですが、本年度は猿の捕獲檻の計上があるが。

産業振興課長 下暮地区にサル个体数を減らすため、大型捕獲檻を5年間設置いたします。設置場所は、区長や組長と相談しながら適地を探します。檻の大きさは、縦・横6m、高さ4mです。

問 地方創生推進交付金事業とは。

産業振興課長 事業対象者は富士吉田市と西桂町の織物業者です。事業内容は、ファクトリーショップによる、町外者への認知、ハタ印による情報発信、国内外デザイナーとのコラボレーション等です。

問 開運の鐘とはどのようなものか。

産業振興課長 建物本体

は100万円程度の洋ベルです。洋ベルを支えるアームを三ツ峠の形にカットします。

主な委員質疑・土木消防

問 積載車2台購入とあるが、現在ある車両などの車検費用、また詳細は。

総務課長 車検費用、ホースなどについては、2分の1を町で補助しております。また減災対策債が使える対象車を配備します。

問 30年度に2台替えるが、どの分団が対象になっているか。

総務課長 30年度は第2、第4分団、31年度は本部のポンプ車、32年度は第1、第3、第5分団です。

主な委員質疑・教育他

問 入学支度金が平成30・31年度分計上により増とあるが。

教育次長 入学支度金については、2年分の計上です。30年度については4月1日からの申請となります。31年度については、

税務当局との協議の上、年度内に支給するということで検討に入ります。

問 フランス語教室の募集人員は。

総務課長 9月と12月に週1回・月4回を予定しています。2名の講師により20名ほどの募集を行います。

問 総合型スポーツクラブの詳細は。

教育委員会主事補 総合型スポーツクラブは、単一の種目でなく、いろいろなスポーツをやるという、子どもたちに向けたクラブです。放課後児童教室や体育館でいろいろなスポーツを教えるというコンセプトをもっているクラブです。

平成30年度から国民健康保険の財政運営の責任主体が市町村から県に

平成30年度特別会計当初予算

国民健康保険特別会計

問 予算規模が前年度より、1億3600万円減となっているが、保険税が安くなるのか。予算規模が減って今までと同じサービスが受けられるのか。

税務住民課長 県は国保

財政運営の責任主体であり、標準保険税率を算定いたします。これを参考に西桂町の状況を鑑みながら、6月の議会で税率を決めさせていただきます。



す。若干安くなる見込みです。サービスについては、これまでと一緒です。

問 疾病予防事業で、武道館利用助成事業とあるが。

税務住民課長 健康の保持、増進の為に、国民健康保険加入者に対して、アークや教育委員会で行っている事業についても補助単価、最高500円での助成を考えております。

介護保険特別会計

問 「ばいかも」について

て、指定管理者として月次報告書、月次計算書等々の資料提出は求めているか。

福祉保健課長 毎月、利用者数・費用額について報告を受けています。

簡易水道特別会計

問 水道施設整備経費が減になっているが、今後この金額で大丈夫か。

建設水道課長 長期的な見通しは立っていません。耐用年数や水道管の老朽化等ですでにやっています。近

隣市町村は水道料の値上げ等考えていると聞いていますが、当町は極力町民負担を増やさずに、工事を発注していきたいと考えております。

下水道特別会計

問 情報管理システムの内容と、統合業務の内容は。

建設水道課長 下水道管の管路台帳システムです。32年度までに公営企業会計化と経営戦略の策定を



水道本管布設替工事現場視察

の状況は。

建設水道課長 2月末現在の普及率は、63.0%です。水洗化率は69.4%です。

問 現在の下水道接続率

目指し、下水道管路台帳システムと水道の管路台帳システムを統合していきます。

一般会計補正予算(第7号)

空き家再生及びポケットパークの取り組みは

問 空き家再生推進事業の

取り組みについて説明をお願いします。

総務課長 町道の主要な

避難路に接する空き家等、災害発生時に危険がある空き家について、撤去してそこをポケットパーク、また地域住民の集合地等にしていくという考え方で行なっている事業です。

問 空き家再生の予算100万円と、ポケットパークの区分けは。

総務課長 社会資本で補助金が出るのは、取り壊しに対する費用になります。取り壊しの後、空き地を管理・整備する費用は町単事業となります。

問 西桂町で耐震をしなければならぬ家は何軒か。

建設水道課長 昭和56年5月31日以前に建築された旧耐震基準に基づく住

宅戸数は、平成29年3月現在、589戸で全体の37.7%です。

問 耐震診断の申請がゼロとあるが、しなければならぬ家が何軒かある。そういう状況の中では、力を入れてもらいたい。

建設水道課長 議員おっしゃるとおり頑張つていきたいと思っています。

問 入田団地の今の状況は。

建設水道課長 入田団地は22世帯の内、現在11世帯が入居し、新規の申込みは受けておらず、部屋は封鎖してあります。

問 入田団地の使用料収入は無いのか。

建設水道課長 入田については、決算見込を出した関係で、それほど差がありませんでしたので、こちらには計上しませんでした。収入が無いという事ではありません。

問 町民総合調整審議会

ですが、町民の意見を聞く場を無くすというのはどうか。

町長 町民総合調整審議会は今もって町民の皆様方の意見を聞く機会として、最重要に考えております。今後実施していきたいと考えております。

意見 私も2回動めさせていただきました。委員は公募で半数程入つてきていて、意欲的な方がいらつしやるので、是非町長よろしくお願いします。

問 観光ガイドブックについて、予算計上したが使わなかったいきさつは。

産業振興課長 当初作る予定でしたが、新しい集客を望める施設が出来ましたので、改めて新年度予算に計上して情報発信していきたいと思

町長 三ツ峠活性化会議においても、紙媒体のパンフレットについては現在効果が薄いというご意見をいただき、今度は、スマートフォン、パソコ

ンなどを使つての情報発信が有効ではないか。その辺を重視していきたいとの考え方でこのような結果になりました。

問 松くい虫対策について、新たな森林開発システムも始まるということですが、この松くい虫対策については、検証がなく進んでいるような気がします。PDCAサイクルの、PとDの繰り返しに見える。水を含む山の資源としての議論が無いような気がする。町としてどのように考えているか。

産業振興課長 松くい虫対策も含めて、林業振興については、31年から始まり、県でも林業振興について今後見直し、事業の続け方を検証していくと言っております。

当町としては唯一の林業振興対策として県の補助事業を通じ、来年度も松くい虫については必要です。で続けていきます。

問 国、県から来たものをするだけになりがち

問 産業振興課長 西桂町のほとんどの森林所有者も経営者としての視点では山を所有していません。森林環境譲与税を使い、保全管理という形で、生産材を植えていくのではなく、緑を守るための自然林に返す活動も新しく取り組んで、緑に返していく活動を市町村が取り組み、いずれは森林所有者の方に意向調査をかけて、政策転換に結び付けていけたらと思っております。

意見 是非その視点は大事にしていきたいと思います。西桂においては、観光、農業、林業、全部同じ課がやっておりますので、メリットを生かして今の視点にプラス観光としての山林資源を足していただいて、よろしくお願いします。

問 フランスの方々が来

町されるといことですが、観光ガイドブック及び道路標識等も外国人向けのものを取り入れていただきたい。

産業振興課長 観光の国際化については、山梨県でも重点的に取り組んでいます。町でも、要所所に英語表記の看板を増やして、外国の方が困らないように案内板を改修させていただきました。また観光ガイドブックについても、昨年度作成したものについては英語版も用意しておりますが、他の外国語表記の観光ガイドブックの作成についても考えていきたいと思

問 河口湖や山中湖に行くとき英語ばかりでなく中国語も多いので考えていただきたい。

産業振興課長 英語圏以外のの方の観光案内についてもこれから検討していきたいと思

問 アークのところに鐘が付くという話ですが、熊に警戒を与える意味で、

3月定例会・平成29年度補正予算

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	△4769万円	21億2920万円
国民健康保険特別会計	858万円	5億3926万円
後期高齢者医療特別会計	293万円	8301万円
介護保険特別会計	1122万円	3億5394万円
介護予防支援事業特別会計	8万円	98万円
簡易水道特別会計	△80万円	6613万円
下水道特別会計	△1682万円	1億8767万円

補正予算の主な内容（※全会計において、事業終了による事業費の減額更正あり）

一般会計補正予算(第7号)	○歳入 町税2270万円増額、地方交付税5199万円増額、国庫支出金979万円減額、県支出金121万円増額、町債260万円減額 ○歳出 総務費3563万円増額、民生費2641万円減額、衛生費1867万円減額、農林水産業費145万円減額、商工費224万円減額、土木費2948万円減額、教育費521万円減額
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○歳出 総務費20万円減額、保険給付費22万円減額、共同事業拠出1557万円減額、基金積立金2500万円増額
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○歳出 後期高齢者医療負担金293万円増額
介護保険特別会計補正予算(第3号)	○歳出 基金積立金1400万円増額、諸支出金244万円減額
介護予防支援事業特別会計補正予算(第2号)	○歳出 介護予防サービス事業費8万円増額
簡易水道特別会計補正予算(第2号)	○歳出 改良費80万円減額
下水道特別会計補正予算(第2号)	○歳出 管理費1147万円減額、新設費535万円減額

タクシーコール



三つ峠登山道に等間隔で小さな鐘を設置したらどうか。

産業振興課長 この問題

については、猟友会等の意見を聞き、安全に登れるようであれば看板の内容も検討しなければと思っております。

問 高齢者等タクシー利用助成金実績が減額になっているとか、健康増進事業費の健診で減額、予防接種も減額。補助金や予算を使い切るような方法をお考えいただきたい。

福祉保健課長補佐 タクシーの利用助成について

は、要望は多いのですが、

利用者の入院等病状の悪化などにより、利用頻度が減ったことが大きな原因となっています。

問 他市町村で、人間ドック70歳までやっている市町村がある。西桂は65歳までです。その辺はどのようなお考えか。無理に減額をすることは無いと思います。

総務課長 新年度予算では対象年齢を引き上げております。

問 防災士養成講座ですが、何名受けたか。

総務課長 今年度、防災

士と防災リーダー講習の二つに14名の職員が参加いたしました。

問 富士五湖広域行政事務組合では、防災士会の広域的な組織を作ったらいかがかというような意見がありました。西桂でもその準備をしておくいいのでは。

町長 広域事務組合全体で取り組んでいくことが良いのではないかと思います。特に防災士については、あくまで防災士は住民の立場からの防災、災害への取り組みを考えておりますので、防災士の資格取得や免許の更新等については、積極的な支援をしていきたいと考えております。

3月定例会・条例制定、改正等

賛成全員

条 例 名	主 な 内 容
西桂町職員の配偶者同行休業に関する条例の制定	地方公務員法の規定に基づき、職員の配偶者同行休業に関し必要な事項を定めるための条例制定
西桂町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	地方公務員の育児休業に関する法律の一部改正を踏まえての所要の改正
各種委員等報酬並びに費用弁償条例の全部改正に伴う関連条例の整備に関する条例の制定	各種委員等の報酬額を全面的に見直し、各種委員等報酬並びに費用弁償条例の全部改正。全部改正に伴う関連条例整備のため、所要の改正及び条例を廃止
選挙長等の報酬及び費用弁償条例及び西桂町社会教育指導員の報酬及び費用弁償に関する条例の廃止	
西桂町国民健康保険条例の一部改正	国民健康保険法等の一部改正に伴う所要の改正
西桂町国民健康保険税条例の一部改正	
西桂町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	国民健康保険法等の一部改正に伴う所要の改正
西桂町子ども医療費助成金支給条例の一部改正	子ども医療費助成の対象年齢を15歳から18歳に拡充するため、題名及び所要の改正
西桂町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定	介護保険法の改正に伴う所要の改正
西桂町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴う所要の改正
西桂町介護保険条例の一部改正	介護保険事業計画策定に伴う一部改正
西桂町すこやか交流館アークの設置及び管理に関する条例の制定	武道館改修後の施設の目的及び名称を変更するための条例制定
西桂町道路占用料条例の一部改正	道路法施行令及び山梨県道路法施行条例の一部改正に伴い、一部適用している条例の所要の改正
西桂町公共物管理条例の一部改正	
西桂町都市公園条例の一部改正	
西桂町準用河川管理条例の一部改正	
町道路線の認定（廃止・変更）	町道路線認定について、議会の議決を経る必要があるため



武藤啓子 委員（倉見）

固定資産税評価委員の
選任に同意（全員賛成）



西桂町環境保全基金条例の制定について

町民共有の貴重な財産である緑豊かな森林や清らかで豊富な水資源等を良好な状態で次の世代に引き継ぐことを目的として西桂町環境保全基金を設置する。

●主な委員質疑

問 「千本桜の里整備計画」並びに桂川清掃、三ツ峠山清掃などの環境整備の、具体的な施策は。

総務課長 町内の桜の維持管理、剪定等含めた施策です。また、憩いの森のトイレの建て替えをこの寄附金を積み立てて、充てていきます。

問 その他の収入とは。また、この基金に対して残しておきたい基金の金額は。

総務課長 その他の収入は、助成金や町内での募金活動などです。「千本桜の里」を推進していくため、寄附金をお願いし今回制定となりました。31年以降は随時積み立てをしていきます。

問 ふるさと納税に関する部分や、町内外との交流人口を増やすとか、桂川公園の環境整備に関してなど、町外に発信する事は具体的に考えているか。

総務課長 環境保全活動（桂川清掃・千本桜の里事業）を通じて情報発信をすること、ふるさと納税をはじめとする寄附金のPRをしていきたいと考えております。

調査事項 総務課

各種委員報酬等見直し状況について

●主な委員質疑

問 消防団の出動手当てが出ているか。

総務課長 出動手当ては、1回の出動で「1,200円」が支給されます。

問 他の年額報酬の委員には、1回につき報酬がプラスされるのか。

総務課長 消防団以外は出ませんが、費用弁償として旅費、日当が出ます。

調査事項 建設文教

武道館改修状況等について

●主な委員質疑

問 当館の開館時間を教えてください。

教育長 午前9時から午後10時までです。

問 使用状況をインターネットなどで見ることが出来れば良いと思うが、管理方法は。

教育長 電話予約で確認をしていただきますが、ホームページで紹介する事については指定管理者に要望を出していきます。

意見 電話での問い合わせの対応に気を付けてやってもらいたい。

問 付帯工事で、足が出

たら補正を組むということか。

教育長 差金等もあり予算の範囲で十分対応できています。

問 トレーニングジムの器具ですが、使用管理の考えは。

教育長 常駐するインストラクターより使用方法などの指導もしたいと思っています。

問 今の器具は、操作が複雑になっているので、ご年配の方には配慮を。また、人員の配置など運用の仕方の計画はあるか。

教育長 年配の方には、

問 「今回廃止」とは。

総務課長 選挙長、投票管理者、期日前投票開票管理者の金額は費用弁償としての解釈で支給させていただきます。今回の報酬の中には、入れません。

操作が難しいと思いますので、指定管理者に十分な説明をするように指導していきます。

意見 予約の予定表は細かくしつかり作ってほしい。

総務課長 山梨県で暮らしネットというインターネット回線を使って、予約システムを構築しているところです。そのシステムの導入も検討しています。

2月臨時会・平成30年度補正予算

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	500万円	21億7689万円

補正予算の主な内容

一 般 会 計 補 正 予 算(第6号)	○歳入 環境保全支援寄付金500万円 ○歳出 環境保全基金積立金500万円
----------------------	--



一般質問

瀧口幸男 議員

問

地方創生の総合戦略の
検証について

答

「西桂町総合戦略」策定後
各種事業展開している

瀧口議員

地方創生の総合戦略の検証について、国からの総合戦略策定のための交付金を使った当町での施策、また交付金額は。また地方創生総合戦略の総評は。

町長

地方創生については、地方公共団体が自主性・主体性を最大限発揮して地方創生に取り組み、地域の実情に応じた、きめ細かな施策を実施できるよう、平成27年度の地方財政計画から

「まち・ひと・しごと創生事業費」が創設され、当町においては、平成28年3月に「西桂町総合戦略」を策定しております。基本目標を10の施策に分け、事業、目的に分類し、具体的事業を掲載する、「実施計画」を毎年度作成し取り組んでおります。

これに対する財源として、平

成29年度普通交付税算定時の基準財政需要額では、地域経済・雇用対策費、地域の元気創造事業費、人口減少等特別対策事業費として1億3198万8千円が算定されております。

先日完成した「すこやか交流館アーク」、「グローバルデザインナー拠点事業」、総事業費に対し、地方創生拠点整備交付金、地方創生推進交付金、約8400万円を受けております。

今後も、産業振興、定住施策、子育て支援が図られ、安心できるまちづくり、結婚・出産・子育てまた将来を活かした仕事作り等、人口減少に歯止めをかけた、暮らしやすい町であり続けることを目標に、国・県の財政措置を最大限利用し事業展開をしてまいりたいと考えております。

問

未婚者と新婚世帯への支援を

答

より充実し実施できるよう、
検討してまいります

瀧口議員

生涯未婚者が当町も増加傾向にあるといわれております。未婚者が増える程、出生率の低下にもつながり少子化が加速することは必至だと思います。他の自治体では人口増加のための施策として、婚活、新婚世帯に対し支援事業を進めておりますが、当町でも積極的に進めては。

町長

婚活、新婚世帯に対しての支援については、小規模自治体が単独で実施しても目標とする成果を得ることが難しいと考えていることから、広域行政組合などの圏域自治体と連携を図り実施したいと考えているところであります。

このような中で、平成30年度から「やまなし出会いサポートセンター」の登録窓口が富士北麓地域へ設置される予定であり、

婚活イベントについて広域の市町村で連携して実施することが有効であるため関係機関と協議を進めてまいります。

当町の埋もれた貴重な資源や圏域の資源を活用し、出会い交流会が早期に開催できるよう努力し交流会の実施だけでなく、成婚率の精度を高める工夫をしていきたいと考えております。

また、新婚世帯への支援事業については、当町も取り組みを検討して参りましたが、当町定着後の子育て環境における効果等を考慮し、3世代同居支援の充実を図ることにより新婚世帯を応援することとした経緯がございます。今後も、婚活事業、新婚世帯への支援事業が、より充実し実施できるよう、様々な機会を通じて国や県に働きかけや財源確保を行い、公的支援の在り方を見直す中で、西桂町特有の取り組みを検討してまいりたいと考えております。



一般質問

武藤隆義 議員

問

小さなコミュニティ作りについて

答

災害時、要支援者の救出や安否確認は、隣近所単位でお願いしています

武藤議員

町議会では、昨年11月に「新潟県中越地震」の被災地のひとつである小千谷市の「おぢや震災ミュージアムそなえ館」を見学し、災害の恐ろしさ、避難生活の大変さ、復興の難しさを改めて考えさせられました。

災害発生時、自力避難できない場合、どなたかの手助けが必要となります。現在、任期が1年で終了してしまう各地区役員と防災リーダーを中心に組織づくりが進んでいるようですが、もつと小単位のコミュニティ、つまり「向う三軒両隣」単位のコミュニティ作りが重要だと考えます。

行政として、提案・指導等実施されていることがあればお聞かせください。

小単位のコミュニティ作りは、災害時の避難だけでなく、買い物弱者の救済、日常生活のお

助け隊など、いろいろな場面で生かされることが期待できます。よろしくお願いします。

町長

「小さなコミュニティ作り」についてであります。

阪神淡路大震災では、ご近所の方と家族の力で救助された人が90%を超える地域もあつたそうです。また、救助だけでなく災害発生直後の安否確認や火災発生時のバケツリレーなどで、ご近所の力が発揮され、普段からのご近所づき合いの大切さが再認識されました。

このような現状を踏まえ、地区役員の任期を考慮し、各種防災関係連携会議、防災講演会、防災リーダー制度の確立を進めているところであります。

また、各区で作成している防災計画において、災害時要支援者等の安否確認や救出は、区単位ではなく各家庭の状況を把握

している、組単位又はそれ以下の単位が最も有効であると考えており、区の役員や民生委員中心ではなく、隣近所単位で行なっていたかどうかをお願いしているところであります。また、町では平成25年度に「西桂町協働事業提案制度実施要綱」を制定し、協働により自治推進し、自主防災組織の強化と合わせ計画の策定を考えております。

地区での、防災計画は、「自らの地域は、自らが守る」共助を推進するためのものであることから、自主防災組織、防災リーダー、各種防災関係者と連携し作成できるよう、今後も組織強化を推進していきたいと考えております。

武藤議員

「西桂町協働事業提案制度」活用は、「町内の事業所」「地域活動団体」また「町民活動団体」など、一部の活動になっていな

いででしょうか。
町全体の活動となっていないのが現状ではないでしょうか。

もつと身近な活動として、隣近所で提案し実施できる活動は、何があるか、どうすればよいかなど、わからない町民が多々あると思います。

町では、「補助金制度」「交付金制度」を数多く制定し、「コンパクト・セーフティタウン西桂」を目指し、住みやすい街づくりに努力されていることに、敬意を表しますが、充分に制度が活用されていません。

「補助金、交付金制度」については、広報誌を利用し、町民に周知しているとは思いますが、町民への周知がお座成りの方法ではなく、たとえば「シリーズ化」するとか、写真の入るものは、写真を使って強調するなど、町民が「申請しよう」、「提案しよう」となるような、魅力ある周知方法に変更していただきたい。

他市町村に、決して引けを取らない「補助金、交付金制度」を制定しているのですから、町民が、積極的に街づくりに寄与したくなる仕掛けの構築に期待し、一般質問を終了させていただきます。

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させていただきますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その72



二胡部の皆さん

訪問先

二胡部

代表：渡辺 晴美

取材日：3月8日
柏木議員・渡部議員

問 団体名は。

みなさん 山梨二胡の会

西桂教室です。

問 先生のお名前は。

みなさん 前田登先生です。

問 会の活動目的は。

みなさん 今年で12年目になります。山梨二胡の会の発表会が年2回、3月と9月に開催され、約100名が日ごろの練習の成果を発表します。また、町の文化祭での発表を目標に、日々活動しています。

問 活動日は。

みなさん 月2回、第2・第4木曜日にきずな未来館で練習に励んでいます。

問 会員の人数は。

みなさん 現在7名です。

問 二胡の魅力は。

みなさん 二胡は中国伝統の民族楽器です。こころの奥に響きわたる独特の音色が魅力だと思います。譜面は、数字譜といひ「ドレミ」は「123」で表します。

みなさん 参加者大募集

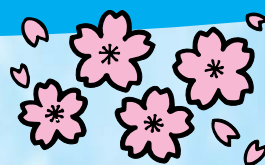
中です。やさしい音色に癒され、私たちと楽しい時間を過ごしませんか。

ニシキヘビの皮を張った筒状の太鼓に、金属の2本の弦があり、その間に馬の尻尾の毛でできた弓が挟まっている



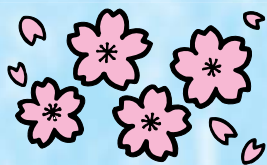
練習風景（きずな未来館）

小学校入学式に出席しました。



先生のお話を
しっかり聞きましょう！

入学おめでとうございます
ございます



今日からランドセルしょって登校します。



議会の傍聴をお願いします。
次回定例会は6月です。
詳細は6月初旬にホームページ上
で公表します。

発行責任者

西桂町議会議長

小山 正則

編集委員長

渡部 保

副委員長

勝保 豊一

委員 武藤 隆義

委員 柏木 正

委員 岩田 裕展